

幼年消防クラブで学ぶこと

幼年消防クラブの目的

消防署では、幼児期の防火教育を目的に城崎こども園の6歳児を対象に「幼年消防クラブ」を結成しています。

特にマッチやライター、花火などに興味を持つこの時期に、正しい火の取り扱い方と火事の恐ろしさを学ぶことは大切です。また、火災予防教育においても大変有効とされており「火の用心は子供の時から」を合言葉に、全国規模で展開されています。

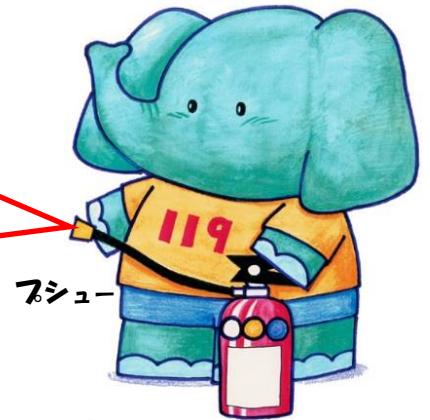
幼年消防クラブでは、年4回の消防教室を開催して火遊びの防止、危険な遊びによる事故防止などを学ぶほか、『ちびっ子消防士』として町内の防火パレードを予定しています。

幼年消防クラブの主な行事

1年間よろしく



- ・幼年消防クラブ結団式
- ・花火教室
- ・防火パレード
- ・幼年消防クラブ修了式



ご家庭で

ちびっ子消防士になられたお子さんが「火の用心」と「安全な遊び」をしっかりと身につけられるよう、万が一の事故を防ぐため、次のことに注意してください。

- 1 **マッチやライターで遊ばせない。**
(子供たちの手の届かない所に片付けましょう)
- 2 **花火をする時は必ず大人が付き添い、水バケツを用意する。**
(子供たちだけで遊ばせないようにしましょう)
- 3 住宅周辺の**危険な場所**(川や海、崖など)で**子供だけで遊ばせない。**
(なぜ危険なのかを一緒に考え、教えましょう)
- 4 「119番」や「110番」への**いたずら電話をさせない。**
(生命や生活を守るための大切な電話であることを教えましょう)
- 5 **危険な遊び**をしている子供を見かけたら、**しっかりと注意する。**
(地域ぐるみで、子供たちを育てましょう)



※子供たちへの防火・防災教育につきまして、今後一層のご理解とご協力をお願いいたします。